

# ～地域ぐるみで行う鳥獣被害対策支援事業～

## 〔令和6年度実施地区〕

## 村山市戸沢地域 樽石地区

### ■実施体制

- 実施主体：戸沢地域街づくり協議会 樽石自治会
- アドバイザー：鈴木 淳氏（かさなりデザイン合同会社）
- コーディネーター：村山総合支庁農業振興課

### ■地区のプロフィール

- 地区内の戸数、人口：70戸 210人
- 主な被害作物：サクランボ、スイカ、サツマイモ、水稻  
ジャガイモ、サトイモ、和梨
- 主な加害鳥獣：イノシシ、ツキノワグマ



## 1. 取組のきっかけ

- 村山市の西部葉山山系のすそ野に位置する戸沢地域樽石地区は、近年イノシシやツキノワグマによる農産物の食害が増え、市当局への通報も多くなってきている。被害を受けている農地は地区周辺に点在し、被害作物もさまざまである。また、被害の広がりも見られるため、「有害鳥獣の生態と被害対策」を改めて研修することとした。そして加害鳥獣を理解し対策を講じ、被害を減らしていくとともに、地区民の認識の開きを少しでもなくしていくことが大切であると考えている。

## 2. 取組の内容

- 有害鳥獣の生態と被害防止対策（8月31日）  
加害鳥獣の生態及び獣害対策の基本をアドバイザーの講義で学んだ。これまでは、被害を受けた農家それぞれが個々に対応していたが、理解を深め協力しあう意識形成につながった。
- 電気柵の設置と集落点検（10月22日）  
既存の電気柵を例に、構造・設置や維持の仕方・その効果などについて研修した。出没地点に設置したカメラの映像を確認したり主な出没地点を衛星写真に落とし込み、生息、被害状況を見える化した。
- 鳥獣対策を考えよう（11月30日）  
集落点検を含め、鳥獣の出没状況を詳しく落とし込み、具体的な対策について話し合った。また、まとめの講義を基に地域住民全体に理解を広げていくことの大切さを確認した。



獣害対策基本研修



電気柵の設置講習

## 3. 課題と今後の展望

- 鳥獣被害については、地域住民の間でも問題意識・関心の差が大きいことから、今後も地域全体が対策の必要性を認識し、多くの住民が「ぐるむ」ことの努力・工夫（具体策や広報）が必要である。
- 住みよい地域づくりの中で、今回の事業を一つのきっかけとして、地域や人々の状況を理解し合いながら、より豊かな地域づくりを模索していく。
- 近隣地域との連携を密にしていく。